

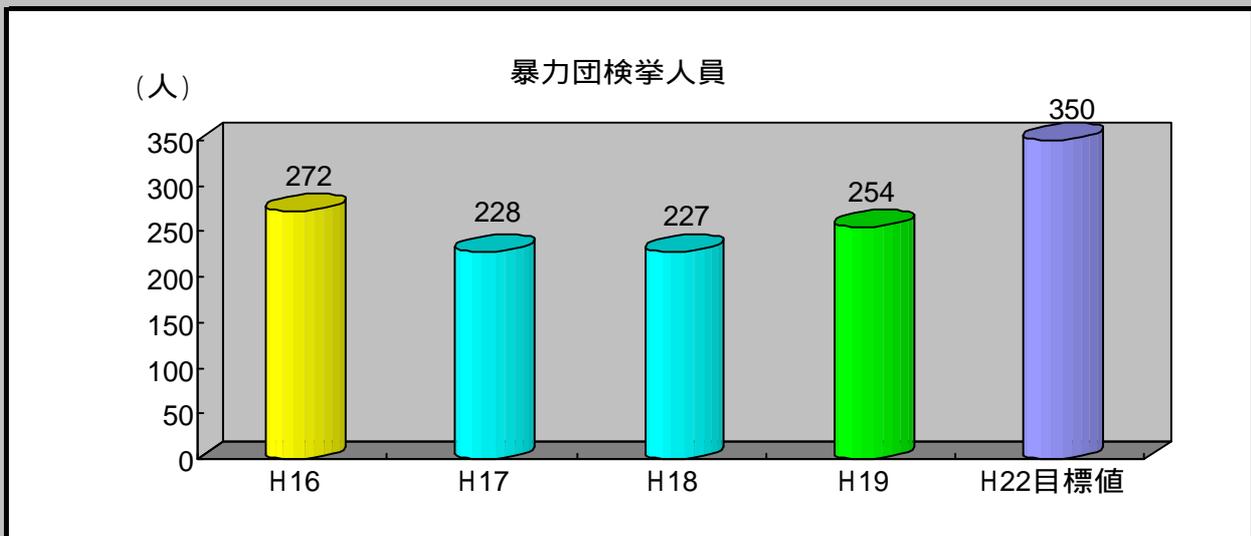
施策名	組織犯罪対策の推進
------------	-----------

目的（対象、意図）

暴力団犯罪、来日外国人犯罪、銃器・薬物犯罪など、主に組織を背景にして敢行される犯罪が、検挙その他各種対策の強化や関係機関・団体等と連携した活動の推進によって減少している

施策の目標

目 標 項 目	目 標 数 値 等	
暴力団検挙人員	目標値	22年
		350人
	現状値	19年
		254人



平成19年の業務ごとの取組、成果とコスト

業務の取組と成果	平成19年事業費(千円)	平成20年事業費(千円)
【銃器犯罪対策の推進】 全国的に、銃器使用による死傷者の伴う凶悪事件等が連続発生したこと等から、潜在するけん銃摘発の強化、関係機関等との連携による水際対策、県民の理解や協力を確保するための積極的な広報活動などの銃器犯罪対策を推進した。	1,655	1,624
【薬物犯罪対策の推進】 覚せい剤等の薬物事犯の摘発を強化し、密輸入、密売グループ、末端乱用者等を徹底検挙するとともに、関係機関等との連携による水際対策や薬物乱用防止啓発活動の普及を目指した積極的な広報活動等、薬物犯罪対策を推進した。	179	95
【暴力団総合対策の推進】 暴力団幹部等による賭博開張図利事件等を検挙し、資金源の封圧に向けた取締り及び関係機関との連携による暴力団排除活動などの暴力団総合対策を推進した。	12,531	12,436
【来日外国人対策の推進】 組織化、凶悪・巧妙化、広域化する来日外国人犯罪に対し、関係都道府県警察との情報交換や共（合）同捜査の推進を図り、組織的な強盗及び窃盗事件等を検挙した。また、関係機関等と連携して在住外国人との共生社会づくりを推進した。	2,543	2,499

業務評価を踏まえた総括評価

・目標達成に向けた平成19年の取組と成果

全国的に暴力団による対立抗争や銃器使用の凶悪事件が連続発生したことから、潜在するけん銃摘発の強化と関係機関との連携による対策を推進した。

薬物犯罪組織の壊滅、「第三次覚せい剤乱用期」の早期終息を目指し、

- ・ イラン人グループ等による密売事件
- ・ 末端乱用者の徹底検挙

など取締りと各種対策を推進した結果、薬物事犯の検挙人員は増加した。

暴力団幹部等による賭博開張図利事件等を検挙するなど、資金源遮断に向けた取組みを行った結果、暴力団検挙人員は増加した。

組織化、凶悪・巧妙化、広域化する来日外国人犯罪に対応するため、取締り関係機関等との連携を強化し、来日外国人犯罪の防止・検挙を図るとともに、外国人との共生社会づくりを目指し、広報啓発活動及び自治体やNPO法人等関係団体の活動に対する支援等を実施した。

・残った課題とその要因

薬物、暴力団の検挙人員は増加したものの、けん銃押収丁数が減少した。銃器・薬物の密輸・密売組織、暴力団等の犯罪組織は、組織実態を隠ぺいする動きを強めるとともに、活動形態においても企業活動を装ったり、政治活動や社会運動を標ぼうするなど、さらなる不透明化の傾向が進み、事案の全容解明に長期捜査を要する等の要因がある。

暴力団等による犯罪組織は、組織構成員の共犯事件、組織が結託して敢行したとみられる事件の検挙などに見られるように、各犯罪組織が相互に連携して活動し、共存共栄を図ろうとする傾向にあり、組織の枠を越えた銃器・薬物等の犯罪を敢行するおそれが強いことから、組織犯罪に係る情報の一元管理を徹底し、統一的・戦略的な組織犯罪対策の一層の推進を図ることが喫緊の課題になっている。

外国人と地域住民の相互の理解、交流の不足から様々な問題が生じている。

・課題を踏まえた平成20年の取組み

銃器・薬物犯罪対策については、捜査情報の交換など、関係機関との一層の連携を図り、

- ・ 薬物犯罪組織の実態解明と末端乱用者の徹底検挙
- ・ 犯罪組織による銃器管理の実態解明と犯罪組織の壊滅に向けた銃器の摘発
- ・ 組織犯罪に対応した捜査手法の積極的活用と関係機関等と連携した水際対策の推進

に取り組む。

暴力団総合対策については、

- ・ 組織実態の解明の推進
- ・ 資金源、人的資源に打撃を与える取締り及び暴力団関係企業に対する取締りの推進
- ・ (財)暴力追放三重県民センター等と連携による暴力団被害の防止及び被害者の支援

に取り組む。

暴力団、来日外国人等による組織的犯罪を減少させるため、暴力団犯罪の徹底検挙を重点として、情報の集約、分析と戦略的な諸対策を推進し、組織的に敢行される銃器・薬物犯罪、来日外国人犯罪等の検挙向上を図る。

在住外国人総合対策については、在住外国人と地域住民が安心して生活していける共生社会づくりを目指し、関係機関や民間団体等との連携を一層強化する。